

保護者の皆様へ

登校
支 足立区 援
GUIDE



足立区教育委員会

今、お子様はどんな状態ですか？

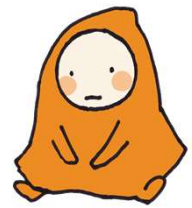


登校状況に応じた支援があります。

1つでもあてはまるものがあれば該当ページを見てみましょう。

- 頭痛や腹痛を訴えることがある
- 口数が減ってきた・学校の話をしたがらない
- 遅刻や早退が増えてきた
- 朝なかなか起きられない
- 学校の準備が進まない・できない

登校しぶり
の状態です



3 ページへ

- 朝、頭痛や腹痛の訴えが増える
- 週に何回か欠席する
- 生活リズムの乱れが顕著になる
- 学校を休みたいと言う
- 学校的话题を避ける
- 学校に行ってもクラスに入れない

不登校の初期
段階です



4 ページへ

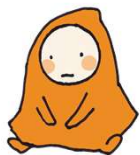
- 欠席が継続している
- 昼夜逆転した生活になる
- 人目を気にして外出しなくなる

不登校
の状態です



5 ページへ

登校 しぶり



学校にいくのを嫌がったり、遅刻や欠席が増えてきた状態です。



▶時々でも、学校の話をしてみましょう

給食や行事のことなど、とりとめのない話をし続けましょう。保護者ご自身の小中学校の話なども良いかも知れません。学校への興味や意識を維持するよう、登校状態を支えましょう。

▶思っていることを言葉に出せるよう、寄り添いましょう

不安や心配事があると思われますが、考えていることを言葉に出すことで心が整理できます。お子様が思いや考えを言葉に出せるよう、同意や共感を意識して接してください。

▶家庭でリラックスできる環境を整えましょう

家庭で緊張状態を作らないために、必要以上に強く叱らないようにしましょう。小さなことでも「ありがとう」「よくできたね」と、お子様を認めるようにしてください。



通学できている場合、まずは先生や

学校内の話しやすい人に相談

してみましょう。

学校で相談したいとき

▶スクールカウンセラー（SC）

お子様や保護者の悩みについて、心理の専門職がお話を伺い、解決に向けて一緒に考えます。勉強や友人関係、登校に関する悩みなど、身近で幅広い相談が可能です。



学校以外の関係機関等の支援が必要なとき

▶スクールソーシャルワーカー（SSW）

お子様や保護者の抱える困難について、社会福祉等の専門職が、学校や関係機関と一緒に解決策を考えます。関係機関とのつなぎ役となり、医療的な支援や生活支援などの支援のネットワークを作ります。



※ SSWに相談をご希望の場合は、まずは担任など学校の先生にご相談ください。

不登校 (初期)



週に1～2回学校を休むなど、
欠席が増えてきた状態です。



▶ 学校に相談しましょう

欠席が継続する可能性があります。まず担任の先生に相談しましょう。スクールカウンセラーの予約をとって、専門的なアドバイスを聞くこともできます。

▶ 保護者の方も、悩みを打ち明けてください

お子様を支えている保護者もつらいものです。ひとりで抱えるのではなく、こども支援センターげんきの心理士による教育相談（不登校相談）をご活用ください。

▶ 焦らず、お子様と向き合しましょう

学校に行くことばかりを伝えすぎると、かえってお子様の状態が悪化する場合もあります。「できることからやってみよう」など、やわらかい言葉で提案してみましょう。



お休み、登校しぶりが気になったら

登校のお手伝い・ご相談

承ります。

登校時の寄り添いが
必要なとき

▶ 登校サポーター派遣

登校時に、家までお迎えに行く『お迎え支援』と、
学校内の別室でお子様寄り添う『別室登校支援』を
おこなっています。



学校以外で
相談したいとき

▶ 教育相談

学習のこと、性格や行動のこと…。

さまざまなお悩みや心配事について、個別のカウンセリングや遊戯療法などを
継続的におこないます。西新井・綾瀬・竹の塚の3地区の教育相談窓口で受付
しています。



不登校



継続して欠席するなど、
登校が難しい状態です。



▶ お子様にとって最善の方法を考えましょう

教室に入れなくても、教室以外への別室登校も可能です。
また、状況によっては学校復帰に固執せず、言葉にならない
お子様のメッセージに耳を澄ませ寄り添いましょう。

▶ 多様な学びの場も検討しましょう

学校以外の学習の場の1つとして、チャレンジ学級やあす
テップを開設しています。また、学びの多様化学校や民間の
フリースクールを利用するための助成金も支給しています。



学校内外の多様な教育

の機会確保に努めています。

在籍校以外に学習の場 が必要なとき

▶ チャレンジ学級・あすテップ

学校外で、学習支援や集団活動をおこなう場を提供します。
さまざまな事情により登校していない児童・生徒に勉強を
教えたり、寄り添った支援をしています。

※ 利用をご希望の場合は、まずは教育相談にお申し込みください。

チャレンジ学級



あすテップ



他者と関り正しい生活 習慣等を養いたいとき

▶ 居場所支援事業

チャレンジ学級に通うことが難
しい児童・生徒が民間団体の運
営する施設で学習できるように
支援をおこなっています。



外出が難しく他者と関 わる機会が必要なとき

▶ 家庭学習支援事業

外出できない児童・生徒を対象
に家庭教師を派遣し、社会性の
向上や基礎学力の定着を目指し
ます。



多様な学びの場を 利用したい場合

▶ 学びの多様化学校・フリースクール等利用者支援助成金

足立区では学びの多様化学校や民間のフリースクール等を
利用するために要する費用の一部を助成しています。

私立学びの多様化学校
助成金



フリースクール等
利用者支援助成金



困ったときや相談したいときは お問い合わせ先一覧

▶▶▶ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー ◀◀◀

相談をご希望の方は、各学校の担任の先生等へご連絡ください。

▶▶▶ 登校サポーター ◀◀◀

支援をご希望の方は、各学校の教育相談コーディネーターの先生や副校長先生等へご連絡ください。

▶▶▶ その他のお問い合わせ ◀◀◀

各教育相談係にご相談ください。区立小・中学生の相談は在籍している学校の住所、その他の方（未就学、私立に在学、高校生の方など）はお住まいの住所により、担当する係が異なります（下図参照）。

花畑、保木間、竹の塚、伊興、舎人
古千谷、入谷の各区域の方は

竹の塚教育相談係

TEL 03-5851-8507
FAX 03-5851-8508

※なお、相談内容・お住まいの地域によって
担当以外の教育相談係をご案内することが
あります。



教育相談
ホームページ



綾瀬川より西の方は

西新井教育相談係

TEL 03-3852-2872
FAX 03-3852-2864

千住地域、綾瀬川より東の方は

綾瀬教育相談係

TEL 03-3838-3588
FAX 03-3838-7201

【発行】 足立区教育委員会 教育指導部 不登校施策推進担当課

TEL 03-3880-0784

FAX 03-3880-5606

Ema i l f-toukou@city.adachi.tokyo.jp

